

様式 4

令和 4 年度 第 2 回学校運営協議会評価報告書

鳥取県立境高等学校
校長 松田 敏男

評 価 日	令和 5 年 2 月 1 5 日 (水)	
	評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策
<p>1 重点目標の達成状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 目標の評価すべてが、B (概ね達成) であるが、令和 5 年度は自己評価に A (十分達成) の評価がつくよう努力してほしい。 <p>2 目標達成のための取組結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で取組が制限されたが、生徒は学校行事・部活動・ボランティア活動などに積極的に取り組んでいた。 <p>3 具体目標の達成状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価項目 1 における 1 1 月考査前の学習時間調査は 3 年次生の目標時間の 2 9 % しか達成していない。高校生が境港市交流センター (みなとテラス) で勉強している姿も見かけるが、この数値は少ないのではないか。目標を定めて挑戦し、一人でも結果に結びつくようになってほしい。 ・ 評価項目 2 において、中学校では校則の見直しを生徒会で考えていくようにしている。高校はどのように見直ししていこうとしているか教えてほしい。 <p>4. 目標達成のために取り組んだ具体方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『境考学』の学習成果発表会は昨年度より充実したものになったと感じた。生徒が志を持って学習に取り組んだ結果が将来の進路実現につながるとよい。地域もともに参画・協働していきたい。 <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『境考学』成果発表会は生徒が堂々と発表していた。あの姿を保護者が参観できると、保護者自身が元気になる、ひいては地域が元気になる。今後は、保護者や地域の人達が参観できる発表会にしてもらいたい。また、今回の発表の一部を、発表生徒の出身中学校で行うことを計画している。中学生が参観できると、今学んでいることが高校に繋がることが理解できると思う。 	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価が厳しくなる向きもあるが、達成に向かう方策を改善し評価の向上を目指す。 <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学の総合型選抜の出願人数や部活動の上位大会への出場者数も昨年度より増加している。 <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査月が大学の推薦入試等を準備する時期と重なるためその影響が出たと考える。具体的な目標を設定させ、学習時間の向上を促したい。 ・ 令和 5 年度に、生徒を交え校則の見直しの協議を行っていく。 <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『境考学』での学びや部活動やボランティア活動の体験を進路実現に繋げる取り組みを今後も推進していく。 <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度は発表会の観客の門戸を広げ、学習の成果を広く発信したい。 	